



令和5年8月10日発行

演劇・映画の専門図書館

松竹大谷図書館

ニューズレター

No. 305(2023年8月)

■松竹大谷図書館 開館65周年記念チラシが完成しました

本年7月1日に開館65周年を迎えた当館の記念チラシが完成しました。デザインは開館65周年ロゴマークも作成していたいただいたデザイナーの北本裕章氏に依頼しました。表面には先月号巻頭に掲載した、当館の創立者大谷竹次郎が、昭和33年7月開館時に当館が入っていた松竹会館の玄関に到着した資料を手にする写真を用いました。開館当時からつながる当館の歴史を感じていただけましたら幸いです。

チラシの裏面では、歌舞伎『義経千本桜』台本、演劇プログラム、戦前の筋書や絵本役割、歌舞伎プロマイド、組上燈籠『石橋』複製の組上完成形、浄瑠璃正本『新うすゆき物語』、歌舞伎座初興行辻番付、戦前雑誌『蒲田』『楽劇』、映画ポスター『カルメン故郷に帰る』、映画台本『秋刀魚の味』『男はつらいよ(第1作)』『祇園の姉妹』、松竹社史や劇場史、そして演劇・映画関連図書など、当館の多彩な所蔵資料を写真でご紹介しています。

開館65周年記念チラシは、当館のエントランスや閲覧室をはじめ、歌舞伎座や新橋演舞場などで配布しております。お見かけの際には、ぜひお手にとってご覧ください。



チラシ表面



チラシ裏面

目次:

松竹大谷図書館 開館65周年記念チラシが完成しました	1	資料提供	3
第98回所蔵資料ミニ展示「ふたりの巨匠の芝居と映画—池波正太郎・司馬遼太郎 生誕100年—」関連資料紹介	2	新着資料案内	3
所蔵資料紹介 -[8]「松竹怪奇映画台本」-	2	公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い	4
江東区立東陽図書館での企画展「いつもとは違う図書館」で当館が紹介されました	3	松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い	4
		夏期整理休館のお知らせ	4
		利用案内	4

■第98回所蔵資料ミニ展示「ふたりの巨匠の芝居と映画—池波正太郎・司馬遼太郎 生誕100年—」 関連資料紹介

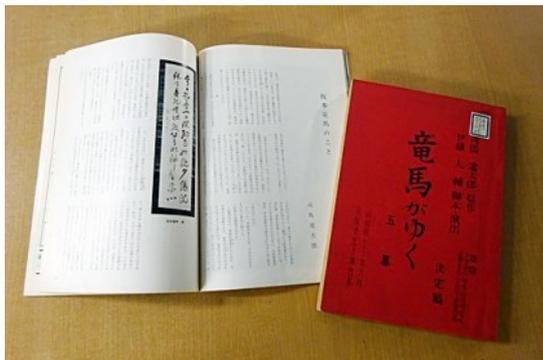
7-8月の閲覧室ミニ展示「ふたりの巨匠の芝居と映画—池波正太郎・司馬遼太郎 生誕100年—」では、本年、池波正太郎と司馬遼太郎という歴史・時代小説家の巨匠ふたりの生誕100年にあたることから、芝居や映画になった作品を当館ならではの資料でご紹介しています。

今回は司馬遼太郎作品より『竜馬がゆく』の資料をご紹介します。

坂本竜馬の生涯を通して激動の幕末期の青春像を描きだした『竜馬がゆく』は、昭和37[1962]年6月より昭和41年[1966]5月にかけて、新聞で連載された司馬遼太郎の代表作です。

初めての舞台化は、昭和43[1968]年6月の歌舞伎座「吉例中村錦之助公演」でした。明治百年記念上演の狂言として『竜馬がゆく』立志篇・風雲篇・狂瀾篇・怒濤篇・回天篇を一挙劇化し、夜の部一本立てで上演しました。竜馬を中村錦之助(萬屋錦之介)が演じ、映画『反逆児』(昭和36[1961]年公開)などで錦之助とは名コンビとして知られた映画監督の伊藤大輔が脚本・演出を担当したことも話題となりました。

写真は、昭和43[1968]年6月歌舞伎座上演台本とプログラムです。プログラムには、司馬遼太郎の「坂本竜馬のこと」と題した寄稿文が載っています。



その後、平成19[2007]年は竜馬没後140年にあたることから、同年9月歌舞伎座において新作歌舞伎『竜馬がゆく 立志篇』が上演されました。新春ワイド時代劇『竜馬がゆく』(平成16[2004]年放送)で竜馬を演じた七代目市川染五郎(現・松本幸四郎)が、念願であった歌舞伎の舞台において初めて竜馬を演じ、好評を博しました。脚本・演出は齋藤雅文が担当。優れた新作歌舞伎の脚本に対し、松竹株式会社と当館が贈る「大谷竹次郎賞」の平成19年度第36回受賞作品となりました。なお平成20[2008]年9月には、続編として同じく市川染五郎主演で『竜馬がゆく 風雲篇』、翌平成21[2009]年9月には『竜馬がゆく 最後の一日』が上演される人気の三部作となりました。

展示では、三部作の舞台写真をご覧いただきました。台本も舞台写真も、閲覧室でお手にとってご覧いただける資料ですので、ご興味のある方はぜひお問い合わせください。8月10日(木)で展示は終了しますが、資料は閲覧室にてお読みいただけますので、ぜひ皆さまのご来館をお待ちしております。



竜馬がゆく『歌舞伎三部作上演台本

閲覧室ミニ展示「ふたりの巨匠の芝居と映画—池波正太郎・司馬遼太郎 生誕100年—」
展示期間: 2023年6/30(金)~8/10(木)/時間: 平日10時~17時/休館日: 土日祝日、毎月最終木曜日/展示場所: 松竹大谷図書館 閲覧室 ※現在、展示は予約なしでご覧いただけます。松竹大谷図書館 TEL 03-5550-1694(平日: 10時より17時) <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>

■所蔵資料紹介 —[8]「松竹怪奇映画台本」—

松竹大谷図書館の所蔵資料を写真と共にご紹介するコーナー。今回は、松竹が手掛けた怪奇映画の台本です。

8月11日公開の『ミンナのウタ』は、数々のジャパニーズ・ホラーの傑作を生みだした清水崇監督の最新作で、配給を松竹が担当しています。これにちなみ、昭和43[1968]年の松竹製作・配給の怪奇映画の台本2作品をご紹介します。

写真左は『吸血鬼ゴケミドロ』。当時のプレスシートには「松竹が初の恐怖怪奇映画として製作した」と記されています。宇宙生物ゴケミドロに侵略される地球の人間たちの恐怖を描き、好評を博しました。50年以上経た今でもカルトの人気のある作品です。そして、この『吸血鬼ゴケミドロ』の後を受けて、同年に松竹の怪奇路線第二弾として製作されたのが『吸血髑髏船』(写真右)です。双子の姉妹の姉が船で殺され、その妹に姉の霊が乗りうつり復讐をする映画で、幽霊船や海中での怪奇現象など、海を舞台とした場面が展開します。

暑さが続く夏、映画と共に台本でも怪奇の世界を楽しんでみませんか？



左より:『吸血鬼ゴケミドロ』『吸血髑髏船』映画台本

当館閲覧室で閲覧できます。ご希望の方は閲覧席をご予約ください(※前日までの予約制)。

当館HPの「資料検索」で検索可能です。

<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

■江東区立東陽図書館での企画展「いつもとは違う図書館」で当館が紹介されました

江東区立東陽図書館で東京都内にある様々な専門図書館を紹介する企画展「いつもとは違う図書館」が開催されています。松竹大谷図書館もご紹介いただいております、他の各館のチラシやパンフレットと共に当館の開館65周年のチラシも配布していただいております。

当館以外にも国立映画アーカイブ図書室など色々なジャンルの専門図書館が紹介されています。ぜひお立ち寄りください。



会場風景

会場:江東区立東陽図書館(東京都江東区東陽2-3-6)
江東区立東陽図書館HP:<https://www.koto-lib.tokyo.jp/tabid94.html>
東京メトロ東西線「東陽町駅」2番出口より徒歩5分
期間:2023年8月1日(火)-9月30日(土)

資料提供 (2023年6~7月)

※許可を得た方のみ掲載しております

- [出版]** 『歌舞伎特選DVDコレクション第101号』2023年6月28日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「井上正夫書簡」を提供／『ほうおう』2023年7月3日松竹演劇本部 図書『舞台之團十郎』より『静の法楽舞』を提供／『歌舞伎特選DVDコレクション第103号』2023年7月26日アシェット・コレクションズ・ジャパン マガジンの連載「松竹大谷図書館名品展」に「暫の杉戸」を提供
- [プログラム掲載]** 「六月博多座大歌舞伎」2023年6月博多座 雑誌『新演芸』より『太刀盗人』を提供／「歌舞伎座新開場十周年 七月大歌舞伎」2023年7月歌舞伎座 図書『舞台之團十郎』より『静の法楽舞』・昭和7年11月歌舞伎座筋書を提供
- [その他]** CHARM2023 「Onnagata:Historicizing the Construction of Consumer Mythology」2023年6月3日 Duke University (Long Island University, 箕輪諭子) 大正2年10月歌舞伎座筋書を提供／「歌舞伎公式総合サイト歌舞伎美人」2023年6月9日松竹株式会社 歌舞伎美人特別ポスターニュースに図書『舞台之團十郎』より『静の法楽舞』を提供／「ステージナタリー」2023年6月30日 特集「歌舞伎座で会いましょう」に図書『舞台之團十郎』より『静の法楽舞』を提供

新着資料案内 (ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いします)

新しく受入れた資料をご案内いたします

◆松竹系7月演劇公演資料◆		○ … 受入済み			
劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『通し狂言 菊宴月白浪』	○	○		
	『神霊矢口渡』	○	○		
	『神明恵和合取組 め組の喧嘩』	○	○	○	○
	『鎌倉八幡宮静の法楽舞』	○	○		
新橋演舞場	『刀剣乱舞 月刀剣縁桐』	○		○	○
	『桂米朝一門会』			○	○
南座	『南座 夏の舞台体験ツアー』			○	
	『坂東玉三郎コンサート 人生は歌だけ』			○	
	『坂東玉三郎コンサート 夏のひととき』			○	
松竹座	『吉例寿曾我』	○			
	『京鹿子娘道成寺』	○			
	『伊賀越道中双六 沼津』	○		○	○
	『平家女護島 俊寛』	○			
	『吉原狐』	○			
地方巡業	『鬼一法眼三略巻 菊畑』	○		○	
	『土蜘蛛』	○			

立劇場大劇場プログラム/『第104回歌舞伎鑑賞教室』国立劇場大劇場プログラム/『第206回邦楽公演』国立劇場小劇場プログラム/『第141回民俗芸能公演』国立劇場小劇場プログラム/『第39回舞踊・邦楽公演』国立文楽劇場プログラム/『第40回文楽鑑賞教室』国立文楽劇場プログラム/『第23回文楽若手会』国立文楽劇場プログラム

◆映画プログラム◆(順不同)『影踏み』『新聞記者』『チア男子!!』『翔んで埼玉』『RRR』『THE FIRST SLAM DUNK』『劇場版 ONE PIECE STAMPEDE』『ONE PIECE FILM RED』『愛がなんだ』『裸足になって』『ヴァチカンのエクソシスト』『インディ・ジョーンズと運命のダイヤル』『ミッション:インポッシブル デッドレコニング PART ONE』『キングダム 運命の炎』

◆演劇雑誌◆(順不同)『Confetti』2023年August/『SAKURA TIMES』Vol. 43, Vol. 44/『あぜくら』2023年7月号/『えんぶ』2023年8月号/『ほうおう』2023年9月号/『アート・リサーチ』20号-23号, 特別号 Vol. 1/『ステージびあ関西版』2023年7月+8月号/『テアトロ』2023年8月号/『ミュージカル』2023年7-8月号/『ラ・アルプ』2023年8月号/『演劇創造』49号/『歌舞伎特選DVDコレクション』1号-100号/『喝采』2023年10月/『劇評』第16号/『国立演芸場公演ガイド』令和5年8月号/『長唄』133号/『日本演劇興行協会会報』64号/『日本芸術文化振興会ニュース』2023年8月号/『日本照明家協会誌』2023年7月号/『日本舞踊』75巻8月号/『墨染会 瓦版』31号(会報通算第100号), 31号別冊

◆映画雑誌◆(順不同)『NFAJニューズレター』21号/『NFAJプログラム』No. 46/『SCREEN』2023年9月号/『TVガイド』2023年7/7号, 7/14号, 7/21号, 7/28号/『おとなのデジタルTVナビ』2023年9月号/『キネマ旬報』2023年8月号, 増刊キネマ旬報NEXT Vol. 50/『シナリオ』2023年9月号/『シナリオ教室』2023年8月号/『ドラマ』2023年8月号/『ロケーションジャパン』2023年8月号/『映画テレビ技術』2023年8月号/『映画論叢』63号/『松竹[社報]』236号/『日経エンタテインメント!』2023年8月号/『日本アカデミー賞』第45回, 第46回/『文化通信ジャーナル』2023年8月号/『芸術学研究』33号

◆他社演劇公演資料(2023年5月-7月)◆(順不同) あ・うんぐるーぷ『梅川・忠兵衛』博品館劇場プログラム/ DIAMOND☆DOGS『Le Pont de l'Espoir』博品館劇場プログラム/『エンジェルス・イン・アメリカ』新国立劇場小劇場プログラム/未来につなぐもの『楽園』新国立劇場小劇場プログラム/『モグラが三千あつまって』新国立劇場小劇場プログラム/ミュージカル『ダーウィン・ヤング 悪の起源』シアタークリエプログラム/『SHOW BOY』シアタークリエプログラム/劇団四季『ジーザス・クライスト=スーパースター ジャポネスク・バージョン』自由劇場(四季)プログラム/『第103回歌舞伎鑑賞教室』国

公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■現在ご支援いただいている方々(了承を得た方のみ掲載)令和5[2023]年7月にご支援いただきました

法人・団体 (50音順・敬称略)

株式会社歌舞伎座
歌舞伎座サービス株式会社
歌舞伎座舞台株式会社
有限会社合同通信社
松竹株式会社
松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター
松竹音楽出版株式会社
松竹芸能株式会社
株式会社松竹サービスネットワーク
松竹ブロードキャスティング株式会社
株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

個人 (敬称略)

大塚宏之

どうもありがとうございます

松竹大谷図書館 ご来館予約のお願い

開館日時やご利用方法につきましては、状況の変化にともない変更の可能性がございます。

随時お電話での確認や、当館のHP、Facebookの更新をご確認下さい。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

当館は感染対策のため、ご来館は「前日までの予約制」とさせていただきます。

《現在のご利用について》(※2023年5月16日改定)

- 開館時間 10:00～17:00
- ご来館前日(※休館日を除く)までに、お電話でのご予約をお願い致します。
当日のご利用は、閲覧席に空きがある場合のみ承ります。
松竹大谷図書館 03 (5550) 1694 (平日10時～17時)
- 展示はご予約なしでご覧頂けます。状況によっては、入室をお待ち頂く場合がございます。
- ご利用の際はマスクの着用と手指の消毒のご協力をお願い致します。

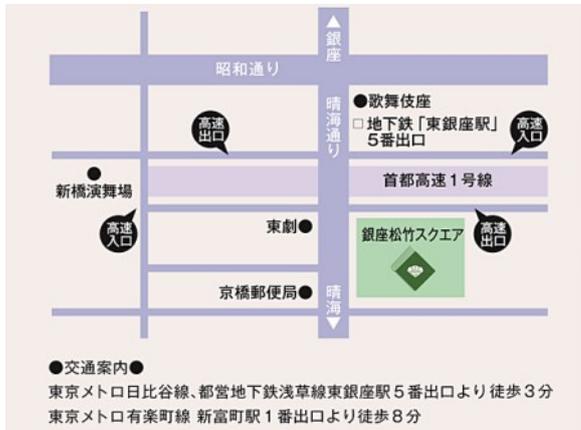
《ご予約について》

- ★10時から17時まで、毎正時より1時間単位でのご予約制になります。
- ★お名前、人数、ご希望日時(〇月〇日〇時より〇時まで)、閲覧希望資料名、ご連絡先をお知らせ下さい。
- ★資料は予約優先になりますので、ご利用頂けない場合もございます。

松竹大谷図書館資料検索：<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>

詳しいご利用方法はこちら：<https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/news/220606.html>

夏期整理休館のお知らせ
令和5年8月11日(金)より
8月27日(日)まで
8月28日(月)より開館いたします



- 利用案内●[開館時間]平日10:00～17:00/[休館日]土曜日、日曜日、祝日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期・夏期整理期間※その他、臨時休館のある場合は1ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します/[閲覧]館内閲覧のみ
[入館料]無料/[コピーサービス] A4 1枚 白黒50円、カラー150円・B4 1枚 白黒100円、カラー300円 量が多い場合は翌開館日渡し、または郵送(送料は申込者負担) 但し、コピー不可の資料もあります
- 資料検索●<https://opac315.libraryexpert.net/lib-shochiku-otani/>
- 交通案内●東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分/東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

公式HP



公式Facebook



公式Instagram



公式Twitter



編集・発行:公益財団法人 松竹大谷図書館
〒104-0045 東京都中央区築地1-13-1 銀座松竹スクエア3階

TEL:03-5550-1694

公式HP● <https://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>